



へうげモノ 2

YOSHIHIRO YAMADA
Hyouge Mono
YOSHIHIRO YAMADA

Original Title:
Hyouge Mono
Original Author:
Yoshihiro Yamada
Original Artist:
Kodansha

1512

YOSHIMORI SAKO AND
MORNING KC

山田芳裕
YOSHIHIRO YAMADA

MORNING
KC
1512

へうげモノ
Hyouge Mono 2



9784063725124



1929979005146

雑誌 42666-12

ISBN4-06-372512-X

C9979 ¥514E (D)

モーニングKC 講談社

定価: 本体514円(税別)

Era o Sengoku-sra, quando os generais cassaram o poder e a posição mutuamente. Havia um homem cuja alma fosse totalmente virada pelas maneiras do chá e do desejo de material, trabalhando com sua maneira, a fim de deixar seu poder é sua aplicação mais alta. Seu nome é Sasuke Furuta, um guerreiro subordinado do general, Nobunaga Oda, com seu mundo magnificente por Nobunaga, o gênio, e sua introspecção espiritual aprendida por Sennoosoki, o mestre do chá. Sasuke anda sua vida como o Hyouge-monque quem prefere a coisa estranha por causa da sua curiosidade. Viver ou falecer. O poder ou a arte. Isso é uma pergunta para sua vida!

群雄割拠、下剋上の戦国時代。

立身は茶を旨としながら、

茶の湯と戦役に情を寄られた男がいた。

戦国武将の豪傑・立花玄光、

天才・信玄から仕立女芸者をも、

茶聖・千利休(同僚)から深遠な精神性を学び、

「へうげもの」への道をひた進める。

生か死か、武か藝か、それが問題だ!



Sasuke Furuta
Nobunaga Oda



Hideyoshi
Hashiba



Osen
Mitsuhide Akechi



KODANSHA

講談社



TEA FOR UNIVERSE, TEA FOR LIFE
HYOUGEMONO 2

第十巻 決意のかけひき

第十一巻 運命82

第十二巻 武田をぶつとばせ

第十三巻 愛してほしい

第十四巻 mt.富士スカイライン

第十五巻 レインフォール ダウン！?

第十六巻 今宵はナイトインツ

第十七巻 幻惑されて

第十八巻 天下を覆れむ歌

第十九巻 未来への讃歌

第二十巻 非情のライセンズ



へうげもの 2

TEA FOR UNIVERSE, TEA FOR LIFE

Hyouge Mono

YOSHIHIRO YAMADA

Author: Yoshinori Kuroki

Illustration: Kuroki

Character Design: Kuroki

Editor: Kuroki

©2011

1512

HYOUGEMONO SINCE 2008
MORNING KC

MORNING
KC
1512

へうげもの

Hyouge Mono 2

山田芳裕
YOSHIHIRO YAMADA

講談社

KODANSHA

Sensuke Furuta

Hokuranga Oda

Hokuranga nochi da

Shikoku Shuchi

Odo

ヘイトレ

TEA FOR LUNAR TEA FOR LUNAR

DOURIN



Hyouge Mono

2

山田芳裕
YOSHIHIRO YAMADA

Em a Senigoku-ura, quando os generais casaram o poder e a posição malvadamente.

Maria um homem cuja alma fosse totalmente virada para as maneiras do céu e do desejo de material, trabalhando com sua maneira.

a fim de deixar seu poder e sua posição muito alta. Seu nome é Senzuke Furuta.

um guerreiro subordinado do general, Nobunaga Oda.

com seu mundo magnificamente por Nobunaga, o genio, e sua introspecção espiritual aprendida por Senzukeki, o mestre do céu.

Senzuke anda sua vida como o Hyouge-mono, quem prefere a coisa estranha por causa da sua curiosidade. Viver ou falhar.

O poder ou a arte. Isso é uma pergunta para sua vida!

1581年12月
近江国・安土城

豊臣秀吉

今日から
おまゝの渾名は
「ハゲモズ」から
「ハゲ」に改めよう

……
俺の本意が
わかるか？

「願」から「人」に
なりまして
うれしうござい
ます



名物八種
持って
いけい!!

鳥取城に突如として
よくぞ来たした!



さすがは
ハゲ!

よく腹に
焼けて懐情に
なったわ!

第十席

決意の かきひき





11. *Journal of the American Medical Association*, 2000; 283: 2686-2692.

Table 1





おまへごときに
俺の心の裡は
わからぬ

愛の一人や二人で
愛されるなら
おねとて許して
くれるわ

上様

明智様が
お屋敷に
戻られた
ようです

俺はまだ
じつくり
見とらん

しつかり
調にしまして
おけよ左介

お静えを
手伝え

カラ

はい

明智殿に
札の品を
渡す……

そうさむ……
八幡のうち
一番安そうな物を
見つくりもって
持ってこい

承知
しました











いやいや
羽柴殿ほど
では――

仰せのとおり
喧されて
隣りに居ても
慣れぬことは
ありません



しかし
思ふことは
ではなく……

家のことを
なると
話せばいいわ




宣填
それがしは
よう眠れます
なんだ……

羽柴一族の
先々を思い
ますと……









願わくば
明智殿のような
家臣想いな
お方の下で



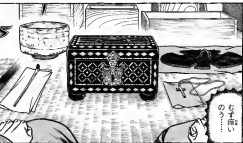




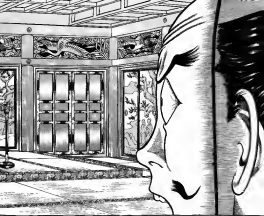


.....
おれが手に
持ったのは

名物とは
聞のみか
.....























その
「逆城の事」の
ことですが
……

何やら
不埒なことを
口乗るのを
よく耳に
致します……



松永や
惣太の
ようなこと
ですか？



風情が収まる前に
下廻上を成し遂げ
……

天下を我が
平手に……と
企んでいるよう
にも思われます



……はい

逆反を招いた
松永や惣太を
悪逆として
断めねばという
ようです……



A black and white manga-style illustration of a woman with her hair in a bun, wearing a patterned kimono. She is shown from the waist up, looking out over a landscape with mountains and a body of water. The scene is framed by a decorative border at the top.

たとえ強き者が
起ち上がろうと
所詮は逆賊

逆賊に与する者の
運命は
古より明らか

この藤孝を
見くびるでない



















ひとつ
それがしの
ために焼いて
くださるぬか

いやなに
井戸とウリ二つで
なくとも
それはそれ……



はあ……

しかしお目に
かなうものには
ならぬと
思いますが……



結構で
ござる





第十二席

武田を
ぶっとばせ





あの
相模・箱根を
持つという
博多の豪商・
島井殿か……



先の
二十六日
京にて……

島井家・島に
信長様がお会いに
なるご予定で
ございました



信長様は
その相模に
えらくご熱心の
様子……

此度の合戦は
ご多忙ゆえ
流れましたが……

いずれ相模を
領えた島井殿を
改めて京に招く
とのことですよ



おそらく
武田攻めが
終わった頃に
ございましょう





明智様のご披露が
遅れば
機を逸することこ
なります……



……
承知致した

しかと
兄上に
申し伝えます





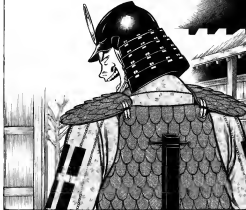














よし！

でかしたぞ
左介！！

平柄はしかと
父上へ伝える
！！



それがしの
交渉により
播磨城主以下
従臣一同！

即刻退散し
織田方へ
城を明け渡し
ました！！



ブルブル



やりあつたな
左介殿！

いったい
どうやっ
て……？



いや……
海老で鯛を
釣ったとは
申す……

師の海老が
少々憎しい
奴がしましてな
……

……

同年3月
信濃国・高遠城
三好野郎伊州市





な……

長益様が……!?



申し上げます
ます！

織田長益様が
信州・松本城を
開城せしめた由に
ございます！



もはや我らも
腰を落ち着けて
おられぬ！

日の出とともに
総攻撃に出るぞ
!!



お待ち
ください
信忠様!!









気後れ
しては
ならぬ!!



梅において
島根縣に取らぬ
ことはわかつて
なる……



せめて

奇



せめて奇で
負けた分は
武で返す!!

これが
古田左介の
生き様!!

終

第十二巻





第十三席

愛して
欲しい





何奴!!

織田の使い
古田左介と
申す

仁科盛信殿に
お目通り
願いたい



織田方は五万
……その方々は
三千の兵

若い身立で
命を落とす
ことは
ありませぬぞ



殿は上陸で
ご願想なされて
おる!

何人たりとも
悪逆はさせぬ
!



このような物を
見たことが
ありません



齡など
関係ない
わ!!













そのどろが
井戸蓋を
!!



名物の話は
通り衆から
よく聞かされ
たわ!

その頃には
井戸の時鐘
たる……

梅花堂も
商人でもない
ではないか

井戸蓋を十文字の形に削りかき入れた。 梅花堂は井戸の蓋に目を留め、それが人形を見た。



この女
目が利く
……!!

……!!
まずい!!





この期に及んで
城中へ入るとは
真い度胸じゃ
……



わらわを
抱いてゆけ

許してやる
代わりに……



この世の
勝敗はもはや
思えてゐる





















終

1582年3月
信濃国・上田砦
長野県上田市



とにかく
無事で
よかった
古田殿



いやいや、この
お流が通した
十字輪が良かった
のですよ

古田殿にも
神のご加護が
あったという
ことです



やはりこの
中阿が作らせた
「信濃」の足星が
良かった！

彼の具足では
買物までやられ
ましたぞー



今度、無事を
しようものなら
左介殿……

何事ならぬ
この中川源兵衛が
あばらを断ります
ぞー



ガハハ

第十四席

mt.富士
スカイライン



うひゃ

ひゃ

ひゃ



相違わらず
ひょうげた
男よ！

身体を張って
開城に努めた
ことは
一矢に償する！



……
はっ



だが御寺城を
開けた由
使者からしかと
聞いた！

よって左介には
上久世二百石に
加え……



西久世
二百石を
新たに取らす
！

合わせて
四百石！

心して
治めろ！









俺は甲斐から
駿河へ回り
帰陣する！

詳しい沙汰は
追って文書で
申し渡す！



おまえには
上野一國と信濃
二郡を任す！

東國の警固
しかと務めろ
！



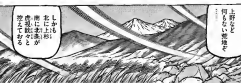
高川様ほどの武功を
立てても……

厚入ひとつ
買えぬと
いふのか……









俺も、勇者の
魂くれ……
京から離れるは
地獄に落ちる
想いよ……

この老体には
死ぬと言うも
同然……

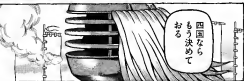
やはりよき者は
尾端より仕える
諸代の家臣の
ようにはなれぬ
のだ……





同年4月
甲斐国・台が原





長宗我部の
四国支配は
許さん

おまえは
四国から
手を引き
畿内より離れろ

代わりに
石見・出雲を
任せる



山陰の辺境では
これまでの
家臣の労も
報われませぬ!!

この明智に
滅びよと
仰せられますか
!!!



畿内のみならず
直轄地を拡げ
日の本を完全に
掌中にする

これが俺の
天下布武よ



見ろ
先鋒……

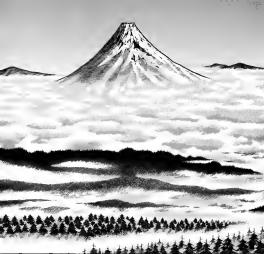
露峰富士が
俺を援護
しておるわ



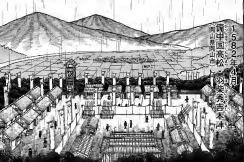


見事な
ものよ……

武田を滅ぼし
ようやくこの
大名物を
手に入れたわ









第十五席
レイン
フォール

ダウン!?



中国における
毛利の支配も
この頃でいよいよ
終わりましたよう
……

それにしても
高松城主・
清水めは遠情
……

織田に降れば
備中一國を授けると
申しておるのですが
……なかなか……



毛利輝元の
ほうは、どう
なってる？



この機嫌質
毛利の使者と懇ろに
話し、交渉を続けて
おります



しかしいかに
天竺の重宝といえど
高松城は五千
こゝろは二万と
五千の兵

この原因に
お任せあらば
見事落城せしめて
ご殿に入れます









朝廷より
命があり
ました



君々明智に
会うとのこと
です

そして
もう一つ



このことで
明智が動揺せぬ
はずはないっ



残るは
あと一月……



武田を滅ぼした
功で、信長様は
朝廷より官位を
賜る由……

博多の島井宗室が
「権威」を復興する
策案と合わせ……

信長様はおそらく
六月朝議には
上座を占めるで
あろうと



黒田や徳川が
彼を疑い始めて
おる……

あまり時を
経くと、士気が
乱れる……

暗合いを見て
信長様に
救援要請を
出すぞ



それにより
明智の軍勢を
動かす……

本能寺へ
向かわせよう
というのです
な



ですが
見上

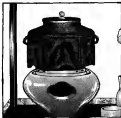
それでも
明智が決意
しなかったら
……



その時は
その時よ

本能寺を襲えば
企てが表に出る
ことはない

同年5月初頭
近江國・安土城内
(近江守安土町)











白らは
茶会ひとつ
開けぬ身
なれど……

こんな形で
己の敵身なりを
発揮できよう
とは……!!



……
やらいでか
!!

ここで
古田の名を
見せつけずに
なんとする……!!



あなたのなまる
茶の湯は……

「わび茶」と
呼ばれている
ようですが……



専らでもらい
安心致した
古湯殿

とこころで
楽湯殿
……



私には今ひとつ
「わび」というのが
身体でわかり
ませんので



近頃はどうも
数寄のほうに
頭が行ってしまっ
ましてな



いや
なに……

そのような
ことはかり
考えておる
もので……



恐れながら
……

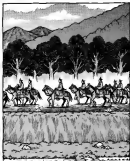
私は明覚様より
難を蒙っており
ます













構わぬ



馬が汚れていては
安土に着いた時
啼われますぞ

家康様



道中に馬の足が
汚れるは当然

もし
啼う者
あらば



その者が
間違っ
てるのだ

終

第十五回





第十六席

今宵は
イトイット

















三の膳
揚げ・糖汁・
漬り蟹・味噌・
鱈汁にございます



二の膳
うるか・鯛・
海胆汁・海苔・
鱈・鱈の汁に
ございます



五の膳
鰯の刺身・牛蒡・
糖汁・相り昆布に
ございます





この様子を……



あの様子で……

徳川家康という
御仁がわかるう
というもの……



徳川様が
お参りさ
くだされば……



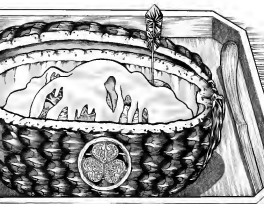
古田左介の
御意を仰めて
天下に披露する場
……



古田の名は
東海一門に
語り継がれるで
あるう……!!

安土には
日の本一の
数寄者ありとな
!!





南方の果實に
桃・枇杷・黄連柿を
醋・鹽醋で和えまし
てござる

名付けて
「安土盛り」
!







ふざける
にも程が
ある!!

これが
そこもとの
持て成しで
ござるか
明智殿!!



我らが情ましく
あらずんば
下々まで乱れ
まするぞ!!

安土の者は
武人たるを
忘れたか!!!



このままでは
納まりが
つかぬ!!

我ら
三河武士を
侮った償いと
して……



質素こそ
正しき道で
ござろう!!









第十七席

幻惑

されて

サッ

7





















あの御は
……

上様より拝領
した、牧野の
夏陣図です



なるほど

良し悪しは
わからぬが
明哲殿の
ご忠告には
感謝致す



三方ヶ原の負け戦より
めったなことでは
座を立てまいと
肝に銘じておりました
が……

あの
古田という男の
腹内にはどうも
……



いや……
そのようなお方の
もてなしにケチをつけ
真に感謝……

家臣に罪はなく
ひとえにこの
家康が失態に
ござる



家臣こそ
我が主

我が命と
心得てござる



家臣に頭を
下げさせぬよう
お姫様で参られた
と……

三河の武人は
血い主を持ち
ましたな



上様への
ご意見と
承ってよろしい
かな？



その想い
なかりせば
国は治まりませぬ

泰平を目指すので
あらば 断じて
忘れてはならぬ
こととござる



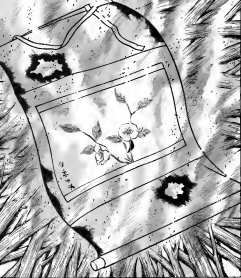




京へ上る時
ぐらいいは
良い物を穿き
なされ

そこもとほ
平気でも
家臣が嘲笑われては
辛うござろう









そして珍事な
薄い一枚板の
仏壇……



おせんっ



おお……

それがしが
船国に隠れて
おいたとおりの
明神様の実……



具足は
奥い物を……



お命を守る
大切な物です
から……



四石をも
任されたの
ですから……



1582年
豊中国石井山
(岡山県岡山市)

豊後秀吉本陣



高松城は
降くのかく
なり果てました

天の恵みが
ありましたな
兄上――



……
お氣を
つけて



この勝て書状を
総國に配りませう

事が成った
境には――



僕は任せたぞ
秀吉

手配しており
にな



床の間に飾り
茶を飲もうぞ

第十八席
天下を
憐れむ歌





何れか
秀長殿



ならば
誰がお見え
するのだ

ようやく建い
屋を上げられた
上様を



この惣領官
大將不在を隠し
引き渡さ毛利と
交渉致す

いずれにせよ
信長様が
来られると
あらば……

毛利は
いかなる
態度も
容むしか
あるまい



お嘆み中ず
惣領官殿

留守中の接待は
この秀長に一任
されておる

それがしの言葉は
兄上の命令と
思ってもらいます
ぞ



定石ならば
真の決戦の場は
京への入り口・
大仏峠

開国・徳川の
書とちを
しかと想えるは
必死……



我ら不安は
二つ……

本願寺に
集まる者物群
と……

明智が真に
上様を
従れるか
どうか……



明智の
あの手……

たしかに
苦勞の跡は
見て取れる……

だが内院
奥室に集められた
徳川父子の手……







勢忠義の
古道具には
特別にと



特別にと
.....



それより
この種よい
大きなの箱は
.....

それも
贈答の品に
こがいます





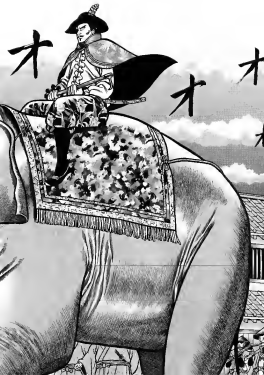
























まさか本能寺へ
行くのでは
あるまいな？

ス
タ

第十九席

未来
への讃歌







俺はこの後
中国の毛利
四国の長宗我部を
一網に捕縛し……

九州へ
渡る



この家室
しかと心得
ましてござい
ます



私、海軍も
先米の軍りに
なっています



私らの語も
聞いてもらいま
へんと……



もはや創作も
ないことよ

おまえら
博多の商人には
世話になるぞ

島井宗室！
神谷景潜！

























本能寺の
織田^{きだ}信長を
討つ











鉄砲の玉薬に
こまいます

第二十席

非情の
ライセンス

















と36月12日
山崎氏・山崎街道
安藤氏西三反







ASAC BOWED FOR THEM—A BUDDHA



同日 午前四時
京・本願寺















お世話に
なり申した



JAPON^{日本}の大大名物！

織田信長。

愛よ



へうげだて ③

日本史上最大の謎く本能寺の夜
その「新解釈」に刮目せよ。

2006年
8月発売予定!!!!

最後

の
三日月は

愛



TEA FOR UNIVERSE, TEA FOR LIFE.

Hyouge Mono

2.

KODANSHA

愛してほしい / CHE 1978

ウィン・ジョール・ゴッド / THE ROLLING STONES 1965

今夜はビート・マック / ビートルズ 1964

愛をよこしたはな / CHE 1978

ウィン・ジョール・ゴッド / THE ROLLING STONES 1965

今夜はビート・マック / ビートルズ 1964

愛をよこしたはな / CHE 1978

ウィン・ジョール・ゴッド / THE ROLLING STONES 1965

今夜はビート・マック / ビートルズ 1964

愛をよこしたはな / CHE 1978

ウィン・ジョール・ゴッド / THE ROLLING STONES 1965

今夜はビート・マック / ビートルズ 1964

愛をよこしたはな / CHE 1978

1512

HYOUGE MONO JANU 2008
MORNING KC



9784063725124



1929979005146

雑誌 42666-12

ISBN4-06-372512-X

C9979 ¥514E (0)

モーニングKC 講談社

定価：本体514円(税別)

Era a Sengoku-eria, quando os generais cassaram o poder e a posição mutuamente. Havia um homem cuja alma fosse totalmente virada pelas maneiras do chá e do desejo de material, trabalhando com sua maneira, a fim de deixar seu poder e sua posição mais alta. Seu nome é Sasuke Furuta, um guerreiro subordinado do general, Nobunaga Oda, com seu mundo magnífico por Nobunaga, o gênio, e sua introspecção espiritual aprendida por Sennosoki, o mestre do chá. Sasuke anda sua vida como o Hyouge-mono quem prefere a coisa estranha por causa da sua curiosidade. Viver ou falacer, O poder ou a arte. Isso é uma pergunta para sua vida!

戦国時代、下剋上の戦国時代。

立身出世を目指しながら、

茶の湯と物欲に魂を奪われた男がいた。

織田信長の家臣・古田左介。

天才・信長から壮大な世界性を、

茶聖・千利休(利休)から深遠な精神性を学び、

「へうげもの」への道をひた走る。

生か死か、武か藝か、それが問題だ!!



相成らず先の見えない

どんづまりな世が続きますな

やつい時の刻印は

かしこまるか解めるかのどちらかです

ここはひとつ、中を取って

へうげでみせよう

きっと生きるのがオモロクなりやす

そう、最高にやつい世を生きた

この漫画の主人公のように

山田芳裕



Sasuke Furuta
Nobunaga Oda



Hideyoshi



Osen



Mitsuhide Akachi

